



誰もが楽しく過ごせるように。  
国や言葉を超えて繋がる場。  
今号は、在留外国人に日本語の学習支援を行っている日田市日本語教室の皆さんを紹介しませう。



◆日田市日本語教室とは

日田に住む外国人で日本語を学びたい人向けに、月に2回、第1・第3日曜日に日本語の学習支援教室を開いている。メンバーは25人。毎回15人ほどでテキスト教材を使い、日常的に使う日本語を教えるとともに、日本文化にも触れる機会を作っている。

◆文字も文化も繋がります

2011年から活動を始めた8年。延べ160人以上の生徒を教えた。出身地域も増え、その都度対応を求められる。教える際にも身

休憩時間はみんなで会話を楽しみ、笑顔と笑い声が溢れる。友達が増え、日頃の悩みを話すなど、在留外国人の皆さんにとって欠かせない場になっている。



日本語で困っている外国人がいたら私たちの教室をご紹介ください。一緒に学習支援をするメンバーも募集しています。  
☎社会教育課 ☎26868

今回はドローンを使用した活動をしている野上さんを紹介しませう！

地域おこし協力隊活動⑩

地域を盛り上げます！



あきひろ 野上明寛さん

令和元年5月から、上津江地区を中心に地域おこし協力隊としてドローンを活用した地域振興活動をしている野上です。大学卒業後、全国各地を転々としながら、仕事でいろんな分野に携わってきました。2年前に地元に戻り、今後どうしようかと悩んだときにテレビでドローンの特集があり、数日間ネットでドローンについて調べました。調べていくうちにドローンの魅力に引き込まれて、ドローンを使った仕事をしようと決断しました。それからはドローンに関する資格やセミナーを受けて、知識と実践を磨いてきました。去年1月、日田市でドローンを扱える協力隊の募集があったので応募しました。現在は主にドローン体験・PR動画撮影・動画編集等を行っています。これからもっと仕事の分野を増やして活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



▲子供たちにドローンを教える様子



▲ドローンを操縦する野上さん

図書館に行こう 淡窓図書館 ☎2497 開館時間：午前9時～午後7時（日曜日、祝日は午後6時まで）

大好き図書館！



SDGsとは、Sustainable（サステナブル=持続が可能な）のS、Development（ディベロップメント=開発）のD、Goals（ゴールズ=目標）のGとsを集めたもので、2015年に国連で採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」のことです。SDGsには私たちの未来を変えるための身近なヒントがたくさんあります。図書館にはSDGsやエシカル消費（買い物を通じて誰にでもできる社会への貢献）などについての本があります。是非ご利用ください。

SDGsの本の紹介

知っていますか？ SDGs  
ユニセフとめざす2030年のゴール  
さ・え・ら書房



「SDGs（=持続可能な開発目標）」についてわかりやすく解説。ユニセフの活動をもとにして、SDGsのテーマごとに世界中の子どもたちに起こっていることを取り上げて紹介する。

※新型コロナウイルス感染症の影響によって、開館日時や施設の利用条件、提供できるサービスの内容が通常と異なる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

こどもの読書週間イベントの中止について  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を予定していた全イベントが中止になりました。

5月の「おいでよ！おはなし会」は中止します

5月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	⑤	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24/31	⑳	26	27	㉒	29	30

新刊情報  
今すぐはじめたい人の  
キャンプ完全バイブル  
ナツメ社  
家族で、カップルで、仲間たちと…。キャンプの楽しみ方はさまざま。プランニングや道具選びから、トラブル対策、グッズのお手入れまで、写真やイラストを添えてきめ細やかに解説。焚き火、BBQ、自然遊びなど、幅広い楽しみ方も紹介する。



障がいへの理解

心の架け橋

手のひらでおもてなし～聴覚障がいの人の事例～

これは少し前の観光祭でのお話しです。聴覚障がいのあるAさんが、観光祭の花火を見に日田に遊びに来ました。人ごみの中を三隈川に向かって歩いていると、人の流れが突然、川と反対方向に変わりました。Aさんは「おかしいなあ」と思い、何かあったのかと不安になってきました。見知らぬ土地で、どうしてよいか分からず困ってしまいました。その時、家族連れの女性から声を掛けられました。その女性は、Aさんが言葉を聞き取れないことを察し、自分の手のひらに指で文字を書いて「どうしたのですか」と聞いてくれました。そこでAさんは、事情を手のひらに指で文字を書きながら説明すると、女性が強風のため花火が中止になったことを教えてくれま

した。会場の放送で案内があったのですが、Aさんには聞こえなかったのです。Aさんはこの女性の対応に大変感謝し「花火は見れなかったけど、また日田にきたい」と手に文字を書いて伝えました。聴覚障がいの人は、音声での情報を正確に受け取ることができません。聴覚障がいの人とのコミュニケーションには手話ができなくても、この女性のように手に指で文字を書いて筆談の代用をすることが出来ます。また、現在は携帯電話のメール機能などを使って、やりとりをすることも出来ます。ちょっとした工夫の合理的配慮が「日田のおもてなし」にもつながった事例でした。

☎社会福祉課障害福祉係 ☎28290（市役所1階）